

# 見てわかる 平成 29 年度 加賀市当初予算のあらまし

## 目次

### はじめに

|                           |         |
|---------------------------|---------|
| 1. 予算ってなに？                | .....1  |
| 2. 平成 29 年度の予算額はいくら？      | .....2  |
| 3. 平成 29 年度の一般会計の予算額の内訳は？ | .....4  |
| 4. 借金残高はいくら？              | .....8  |
| 5. 貯金残高はいくら？              | .....9  |
| 6. 市民 1 人当たりではいくら？        | .....10 |
| 7. 「家計簿」に例えると？            | .....11 |

# は じ め に

加賀市では、平成24年4月から施行している「市民主役条例」の中で、市民が市政の主役となり、市政を推進していくことや、市民一人ひとりに市政に関心を持っていただくとともに、その自発的な活動をサポートすることを目指しています。

このことを踏まえ、市政についてより関心を持っていただくことを目的として、平成24年度から、市の予算や借金、貯金をグラフや家計簿などで表した「見てわかる加賀市当初予算のあらまし」を作成しています。

この冊子を通して、市の予算や事業についてご理解をいただければ幸いです。

平成29年4月

# 1. 予算ってなに？

## ◇予算とは？

加賀市に1年間（4月から翌年3月まで）に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。予算を見れば、1年間にどのような収入を見込み、何に使おうとしているかが分かります。

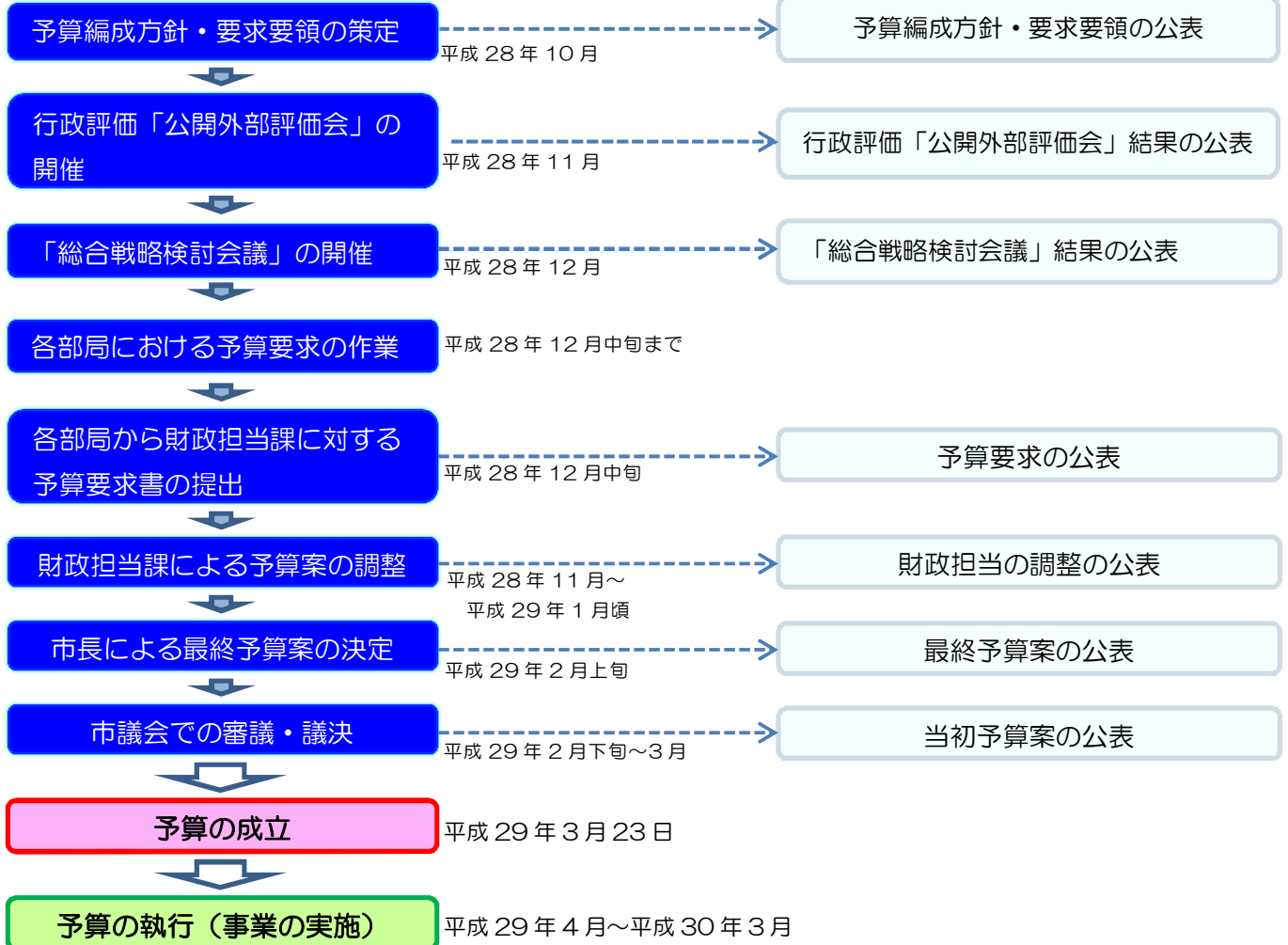
## ◇予算はどのように決まるの？

予算は次のように、市長が予算案を作り、市議会での審議・議決を経て決まります。

（加賀市の平成29年度当初予算の場合）

### 予算編成過程の透明化（見える化）

- ・行政評価における公開外部評価を実施した事業及び総合戦略検討会議で達成度を検証した事業について予算編成過程を公表
- ・公表に併せて市民からの意見を募集



## ◇どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの種類（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

**一般会計**・・・福祉、教育、環境衛生、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。

**特別会計**・・・保険料や使用料など特定の収入によって、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。加賀市には現在、次ページに記載した6つの特別会計があります。

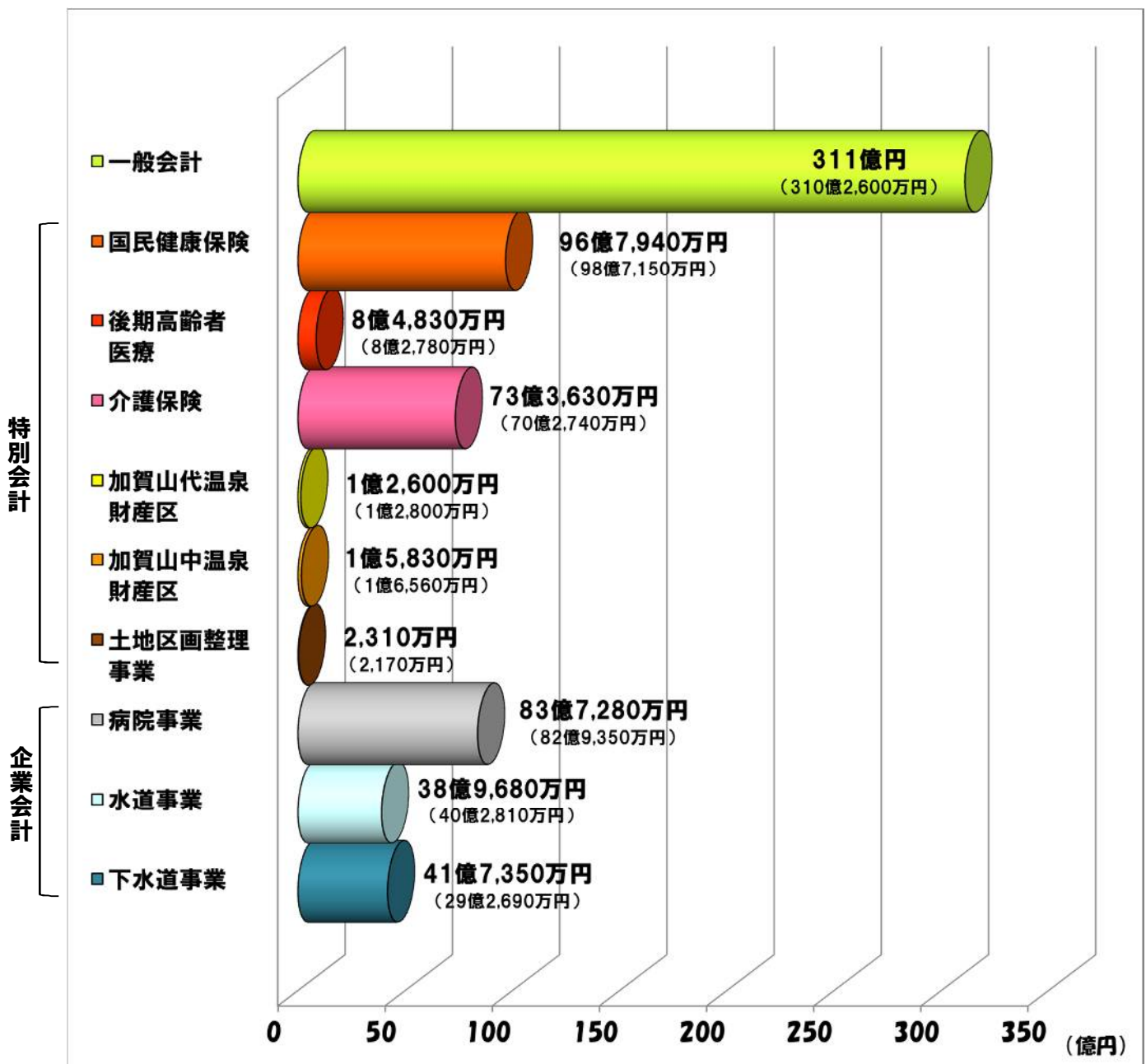
**企業会計**・・・民間企業と同じように事業収益で賄われることを基本とする会計です。加賀市には現在、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの企業会計があります。

## 2. 平成29年度の予算額はいくら？

|         |                |                                    |
|---------|----------------|------------------------------------|
| ○ 全 会 計 | 657 億 1,450 万円 | (平成 28 年度 643 億 1,650 万円 伸率+2.2%)  |
| ○ 一般会計  | 311 億円         | (平成 28 年度 310 億 2,600 万円 伸率+0.2%)  |
| ○ 特別会計  | 181 億 7,140 万円 | (平成 28 年度 209 億 6,890 万円 伸率△13.3%) |
| ○ 企業会計  | 164 億 4,310 万円 | (平成 28 年度 123 億 2,160 万円 伸率+33.4%) |

※平成 29 年度より下水道事業が特別会計から公営企業会計へ移行しました。

※ ( ) 内数値は平成 28 年度当初予算額



## ◇ 平成 28 年度と比較すると予算はどう変わったの？

市の予算額は事業の開始や終了などにより、年度ごとに増減します。

平成 29 年度と平成 28 年度の予算額を比較して、大きな変化があった会計について見ていきます。

### 一般会計

ほっと石川観光プラン推進ファンドへの貸付金や、新幹線開業 PR 推進ファンド借入金の繰上償還に要する費用が皆減しましたが、（仮称）楽しい遊び場の整備費やスマート加賀 IoT 推進事業費の増額等により、7,400 万円の増加です。

### 国民健康保険特別会計

国民健康保険の一人あたりの保険給付費の伸びを見込みましたが、被保険者数の減少に伴い、1 億 9,210 万円の減少です。

### 介護保険特別会計

高齢者の増加に伴い、介護サービスを利用した際に給付する保険給付費や、要介護状態の予防・軽減・悪化の防止などのために行う地域支援事業費の増加が見込まれること等により、3 億 890 万円の増加です。

### 病院事業会計

加賀市医療センターの医療機器整備に伴う企業債の償還開始等により、7,930 万円の増加です。

### 下水道事業会計（※平成 29 年度より特別会計から公営企業会計へ移行）

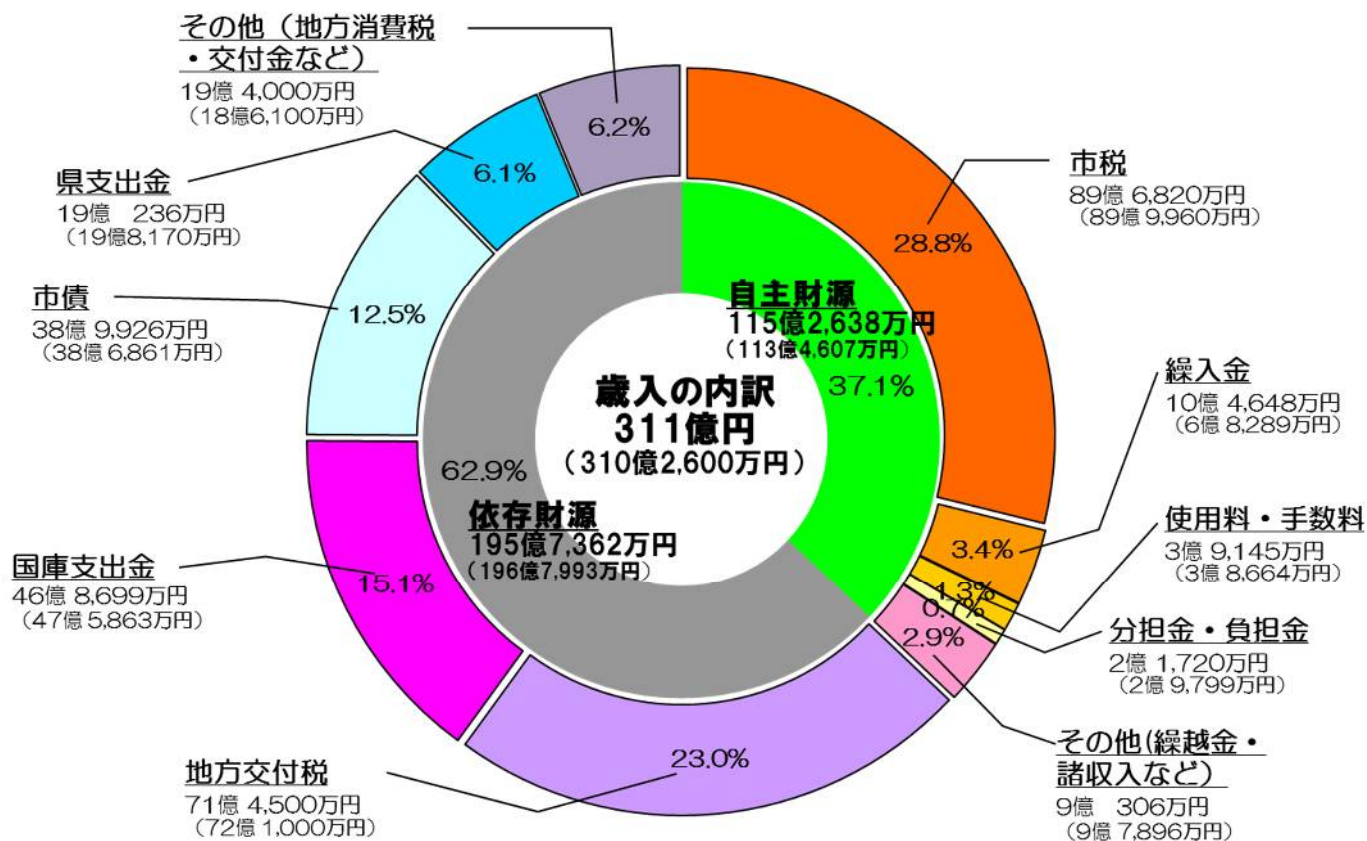
下水道事業特別会計の公営企業会計への移行に伴い、現金支出を伴わない減価償却費等を新たに計上したこと等により、12 億 4,660 万円の増加です



### 3. 平成29年度の一般会計の予算額の内訳は？

#### (1) 歳入

◎ 歳入を種類別に区分し、更に自主財源と依存財源に分けて見ると次のようになります。



※ ( ) 内数値は平成 28 年度当初予算額です。

※一万円未満を四捨五入しているため合計は合いません。

#### **自主財源 115 億 2,638 万円 (構成比率 37.1%) (平成 28 年度比較伸率 +1.6%)**

市が自主的に収入できる財源のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などです。この割合が高いほど、自律的な財政運営ができることになります。

平成 28 年度と比較すると、約 1 億 8 千万円の増加です。

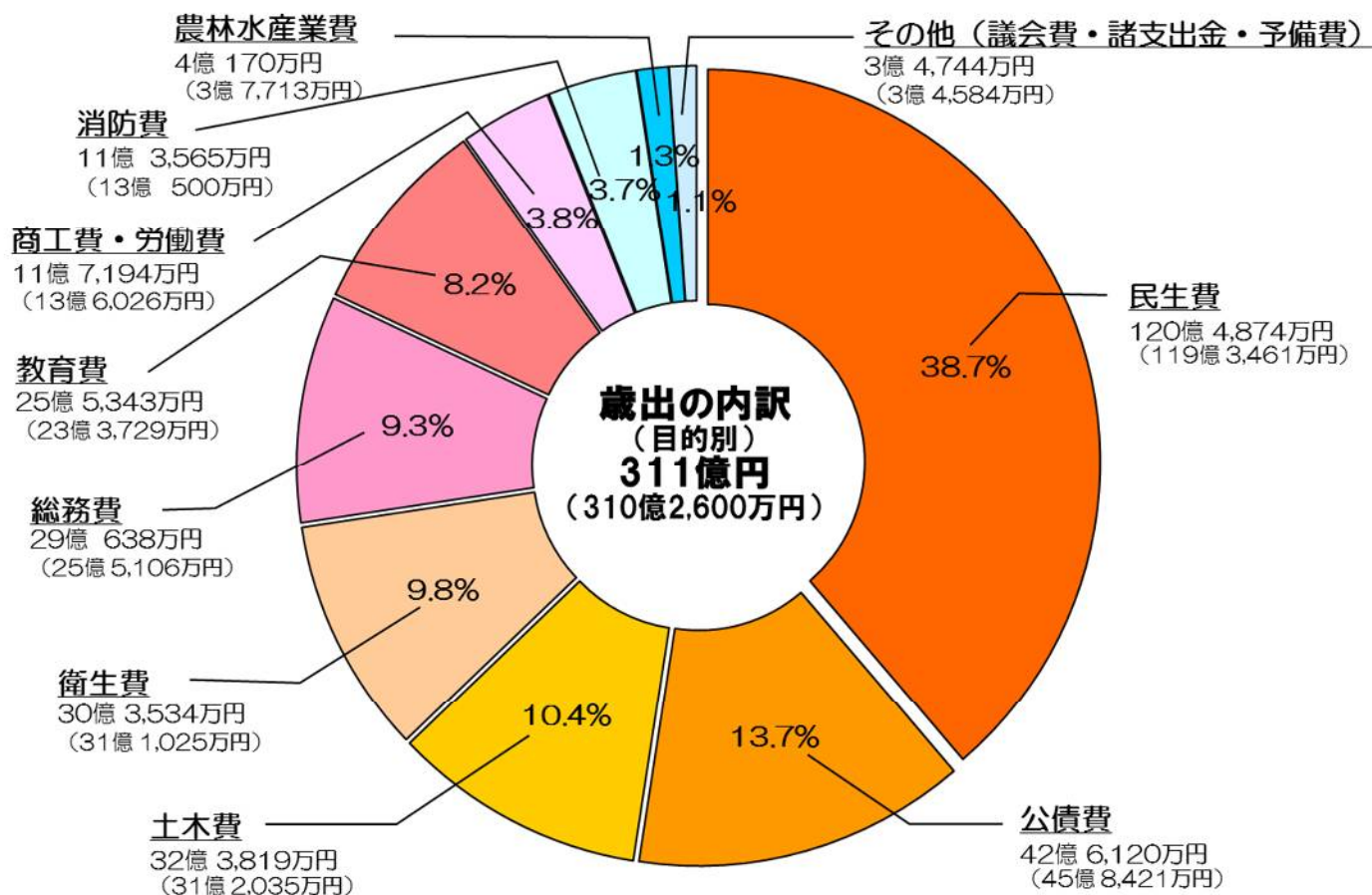
#### **依存財源 195 億 7,362 万円 (構成比率 62.9%) (平成 28 年度比較伸率 △0.5%)**

国や県から交付される財源のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などです。

平成 28 年度と比較すると、約 1 億 1 千万円の減少です。

## (2) 歳出(目的別予算)

◎ 歳出を行政目的別に区分すると次のようになります。



※ ( ) 内数値は平成 28 年度当初予算額です。

※一万円未満を四捨五入しているため合計は合いません。

### ○ 目的別予算のうち主なもの

**民生費 120 億 4,874 万円 (構成比率 38.7%) (平成 28 年度比較伸率 +1.0%)**

民生費とは、高齢者、障がい者、児童、生活保護などの福祉に要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、動橋・作見保育園機械復旧等事業の完了による工事費等の減少や、臨時福祉給付金事業費の皆減等がありますが、(仮称)楽しい遊び場整備費の増加等により、全体では約 1 億 1 千万円の増加です。

**公債費 42 億 6,120 万円 (構成比率 13.7%) (平成 28 年度比較伸率 △7.0%)**

公債費とは、市の借入金の返済に要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、新幹線 PR 推進ファンド借入金や、旧菅谷小学校建設事業にかかる借入金の繰上償還費の皆減等により、全体では約 3 億 2 千万円の減少です。



**土木費 32 億 3,819 万円（構成比率 10.4%）（平成 28 年度比較伸率 +3.8%）**

土木費とは、道路、河川、公園の整備や維持管理などに要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、合河片山津線（片山津町～片山津温泉 1 区地内）整備事業費や下水道事業への繰出金・出資金の増加等により、全体では約 1 億 2 千万円の増加です。

**衛生費 30 億 3,534 万円（構成比率 9.8%）（平成 28 年度比較伸率 △2.4%）**

衛生費とは、健康診断や予防接種、病院事業会計への繰出し、ごみ処理などに要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、山中温泉ぬくもり診療所整備費の皆減等により、全体では約 7 千万円の減少です。

**総務費 29 億 638 万円（構成比率 9.3%）（平成 28 年度比較伸率 +13.9%）**

総務費とは、まちづくりの推進、公共交通、税務、庁舎管理、電算システムなどに要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、プラス・カガ推進事業費や若者等就労支援事業費の増加等により、約 3 億 6 千万円の増加です。

**教育費 25 億 5,343 万円（構成比率 8.2%）（平成 28 年度比較伸率 +9.2%）**

教育費とは、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興などに要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、小中学校普通教室等の冷房化工事費の増加等により、全体では約 2 億 2 千万円の増加です。

**商工費・労働費 11 億 7,194 万円（構成比率 3.8%）（平成 28 年度比較伸率 △13.8%）**

商工費・労働費は商工業や観光振興、労働福祉に要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、スマート加賀 IoT 推進事業費（人材育成・拠点整備）が増加しますが、ほっと石川観光プラン推進ファンドへの貸付金の皆減等により、全体では約 1 億 9 千万円の減少です。

**消防費 11 億 3,565 万円（構成比率 3.7%）（平成 28 年度比較伸率 △13.0%）**

消防費とは、消防や防災に要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、消防車両整備費（救助工作車）の減少や、セミナーハウスあいりす太陽光発電設備システム及び蓄電池設備設置事業費の皆減等により、全体では約 1 億 7 千万円の減少です。

**農林水産業費 4 億 170 万円（構成比率 1.3%）（平成 28 年度比較伸率 +6.5%）**

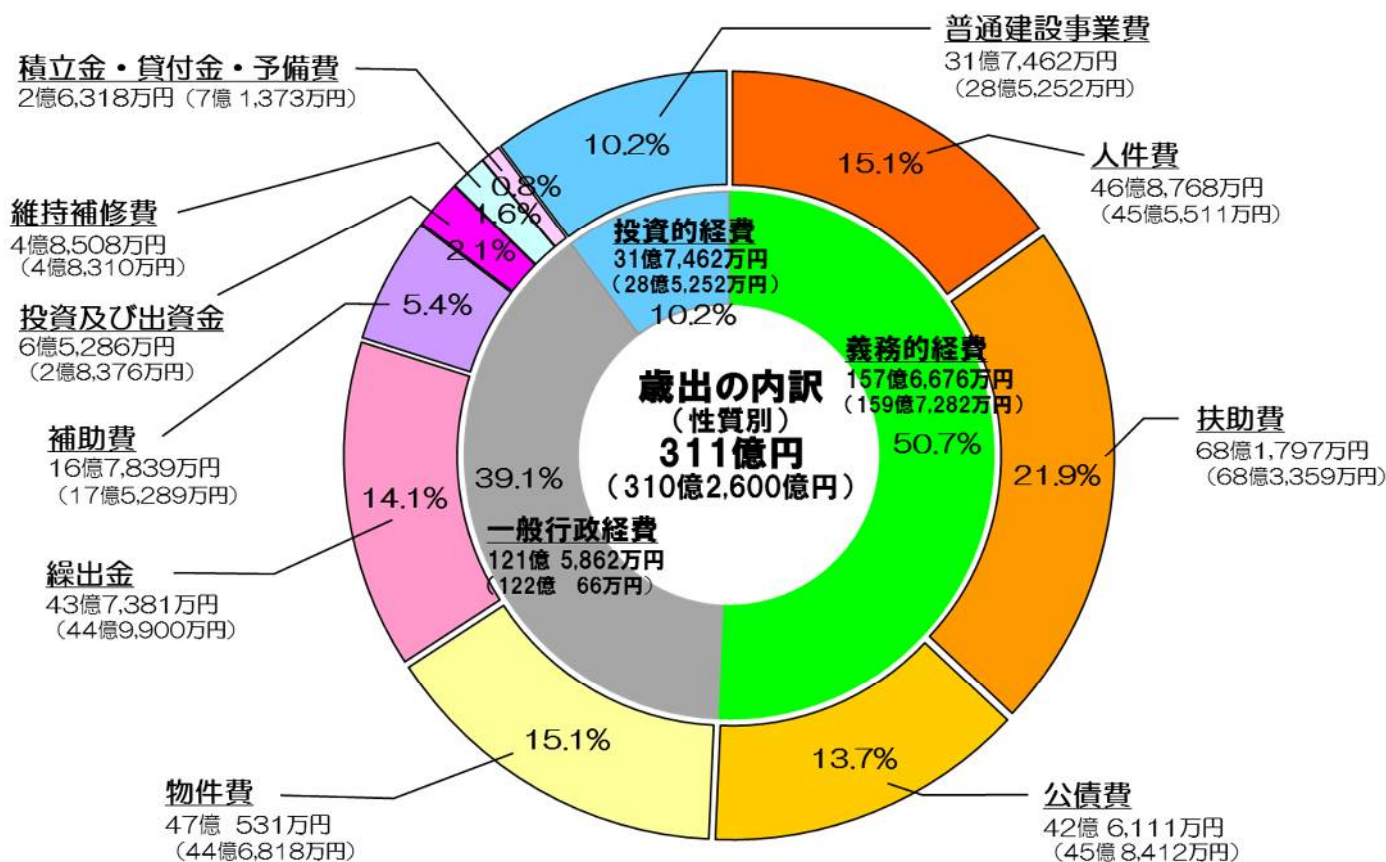
農林水産業費とは、農業・林業・水産業振興に要する経費です。

平成 28 年度と比較すると、スマート加賀 IoT 推進事業費（農業分野における実証事業）や老朽ため池の耐震対策調査費等の増加により、全体では約 2 千万円の増加です。



### (3) 歳出（性質別予算）

◎ 歳出を経済的な機能や性質から見た性質別経費として区分し、更に義務的経費、一般行政経費、投資的経費に分けて見ると次のようになります。



※（ ）内数値は平成 28 年度当初予算額です。

※一円未満を四捨五入しているため合計は合いません。

#### **義務的経費 157 億 6,676 万円（構成比率 50.7%）（平成 28 年度比較伸率 △1.3%）**

義務的経費とは、法令の規定や経費の性質上、支出が義務づけられている経費であり、任意に削減できないものです。具体的には、児童・高齢者・生活保護者などの生活支援にかかる扶助費、市職員給与などの人件費、市の借金を返済するための公債費のことで、この割合が低いほど建設事業やほかの様々なサービスに多くお金を使えることになります。

平成 28 年度と比較すると、全体では約 2 億円の減少です。

#### **一般行政経費 121 億 5,862 万円（構成比率 39.1%）（平成 28 年度比較伸率 △0.3%）**

施設の管理費や臨時職員等への賃金などの物件費、各種団体への負担金・補助金などの補助費等、施設の維持補修費や、特別会計への繰出金等のことです。

平成 28 年度と比較すると、全体では約 4 千万円の減少です。

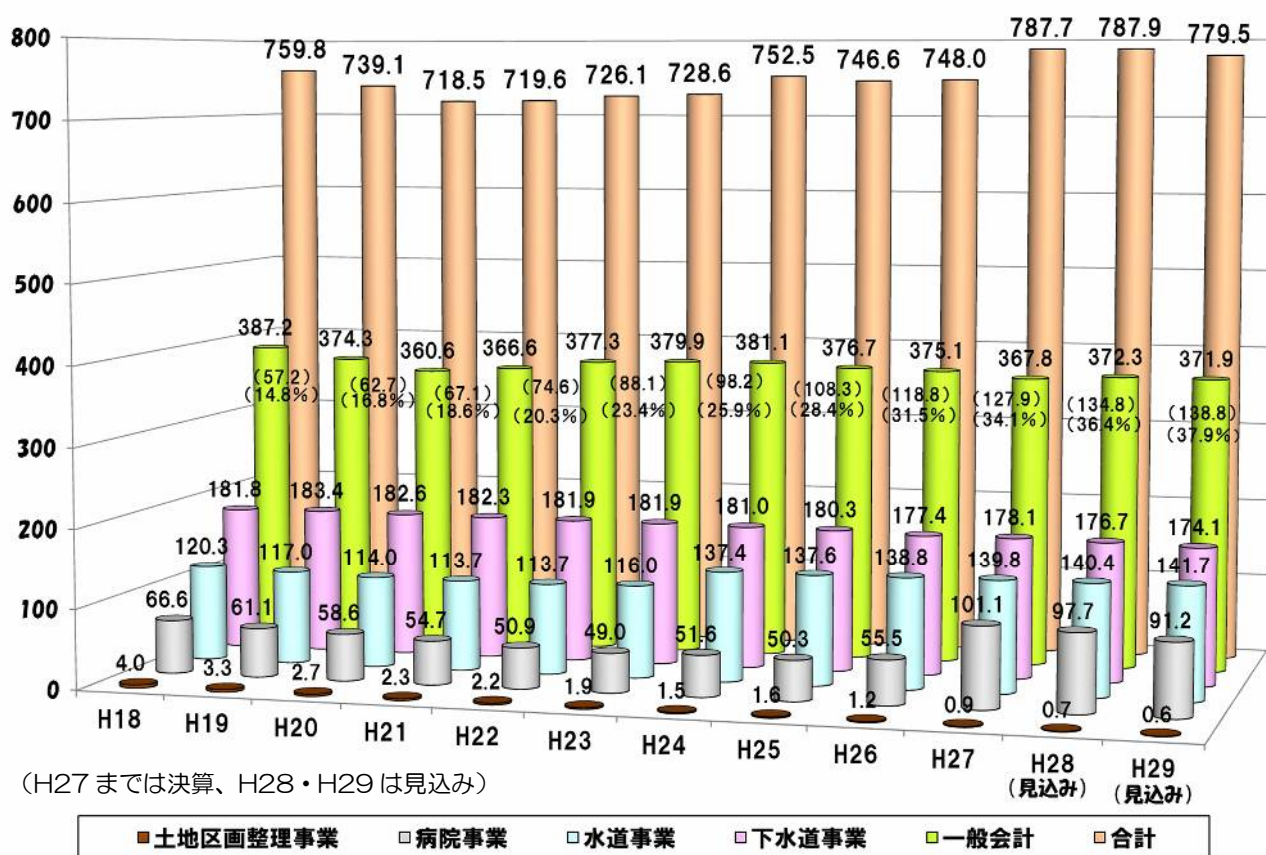
#### **投資的経費 31 億 7,462 万円（構成比率 10.2%）（平成 28 年度比較伸率 +11.3%）**

投資的経費とは、その支出が社会資本形成に向けられるものです。具体的には、道路や公共施設の整備等の普通建設事業のほか、災害復旧事業に充てられる費用のことを指します。

平成 28 年度と比較すると、約 3 億 2 千万円の増加です。

## 4. 借金残高はいくら？

(億円)



※ ( ) 内数値は臨時財政対策債の残高及び一般会計残高に占める割合です。

市の借金は、市債といいます。

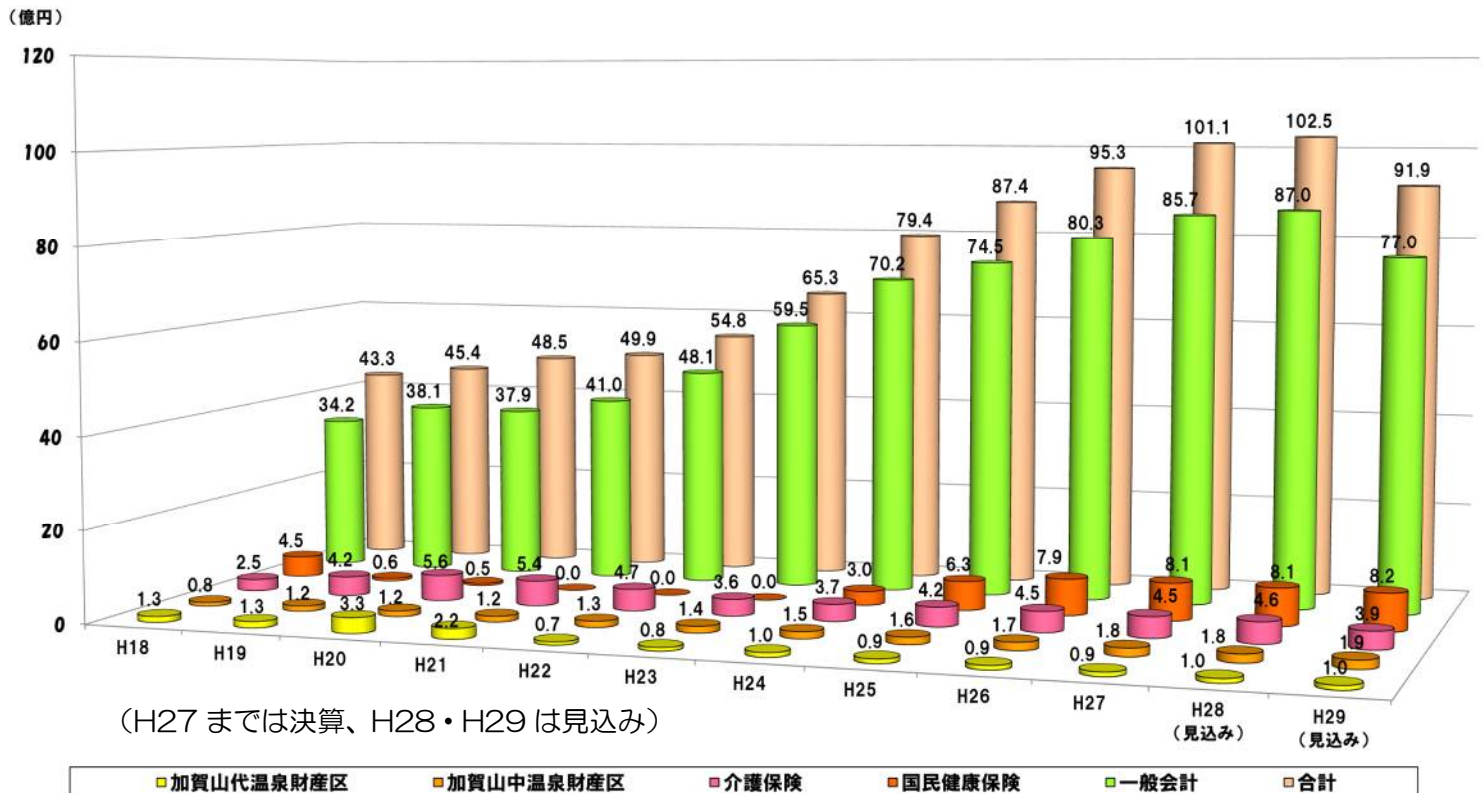
加賀市では現在、一般会計、土地区画整理事業特別会計、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の計5つの会計で市債を発行しています。

全会計を合計した市債残高は、平成17年度の合併以降、平成20年度までは減少し続けましたが、平成21年度以降は増加傾向にあります。増加の主な理由としては、一般会計で、国の経済対策に伴い、小中学校や環境美化センター等の耐震改修事業を行ったことや、地方交付税の代替財源であって、後年度の返済額の全額が交付税措置される臨時財政対策債を借り入れていること、また、病院事業会計で加賀市医療センターの建設を行ったことが挙げられます。

平成28年度は、一般会計における旧加賀市民病院跡施設（かが交流プラザさくら）整備事業等にかかる市債の発行により、市債残高は増加する見込みです。平成29年度は、病院事業会計における加賀市医療センターの医療機器借入分の償還等により市債残高は減少する見込みです。



## 5. 貯金残高はいくら？



市の貯金は、基金といいます。

加賀市では現在、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、加賀山代温泉財産区特別会計、加賀山中温泉財産区特別会計の計5つの会計で基金を積立てています。

全会計を合計した基金残高は、平成17年度の合併以降、増加傾向にあります。増加の主な理由としては、一般会計での決算剰余金（黒字分の1/2を下らない金額）を財政調整基金に積立ててきたことが挙げられます。

平成28年度は、中期財政計画に基づき、今後見込まれる重点事業（北陸新幹線建設に伴う加賀温泉駅関連整備、加賀市医療センター整備にかかる市債償還に伴う財政負担平準化など）の推進に向けた財政需要への備えとして、重点事業推進基金の創設と、減債基金への積増しを行いました。

平成29年度は一般会計の予算の収支不足を補うため、約5億9千万円の財政調整基金の取崩しや、退職手当基金、重点事業推進基金、減債基金などの取崩しを見込んでいます。



## 6. 市民1人あたりではいくら？

○一般会計の予算を市民1人あたりに換算すると、約45万円になります。

| 予算の使いみち                                                                                                                                            | 平成29年度予算     |               | 市民1人あたりの予算（※2）                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|---------------------------------|
|                                                                                                                                                    |              |               |                                 |
| <b>民生費</b><br><small>（高齢者、障がい者、児童、生活保護のために）</small>               | 120億4,874万円  | 38.7%         | 17万5,438円<br>(17万2,025円)        |
| <b>公債費</b><br><small>（市の借入金の返済のために）</small>                       | 42億6,120万円   | 13.7%         | 6万2,046円<br>(6万6,077円)          |
| <b>土木費</b><br><small>（道路、河川、公園等の整備のために）</small>                   | 32億3,819万円   | 10.4%         | 4万7,150円<br>(4万4,977円)          |
| <b>衛生費</b><br><small>（健康診断や予防接種、ごみ処理等のために）</small>                | 30億3,534万円   | 9.8%          | 4万4,197円<br>(4万4,831円)          |
| <b>総務費</b><br><small>（まちづくりの推進、公共交通、税務、庁舎管理、電算システム等のために）</small>  | 29億 638万円    | 9.3%          | 4万2,319円<br>(3万6,771円)          |
| <b>教育費</b><br><small>（学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興のために）</small>         | 25億5,343万円   | 8.2%          | 3万7,180円<br>(3万3,690円)          |
| <b>商工費・労働費</b><br><small>（商工業、観光振興、労働福祉のために）</small>            | 11億7,194万円   | 3.8%          | 1万7,064円<br>(1万9,607円)          |
| <b>消防費</b><br><small>（消防、防災のために）</small>                        | 11億3,565万円   | 3.7%          | 1万6,536円<br>(1万8,810円)          |
| <b>農林水産業費</b><br><small>（農業、林業、水産業振興のために）</small>               | 4億 170万円     | 1.3%          | 5,849円<br>(5,436円)              |
| <b>その他の行政費</b><br><small>（議会運営や基金積立等のために）</small>               | 3億4,744万円    | 1.1%          | 5,059円<br>(4,985円)              |
| <b>合計（※1）</b>                                                                                                                                      | <b>311億円</b> | <b>100.0%</b> | <b>45万2,838円</b><br>(44万7,209円) |

○ 市民1人あたりの借金残高、貯金残高は次のとおりです。

| 区分               | 平成29年度末残高   |  | 市民1人あたりの残高（※2） |
|------------------|-------------|--|----------------|
|                  |             |  |                |
| <b>全会計の借金残高</b>  | 779億5,140万円 |  | 113万5,027円     |
| うち一般会計の借金残高      | 371億8,895万円 |  | 54万1,497円      |
| うち臨時財政対策債（※3）の残高 | 142億5,643万円 |  | 20万7,584円      |
| <b>全会計の基金残高</b>  | 91億9,058万円  |  | 13万3,821円      |
| うち一般会計の基金残高      | 77億 285万円   |  | 11万2,159円      |

※1 一万円未満を四捨五入しているため合計は合いません。

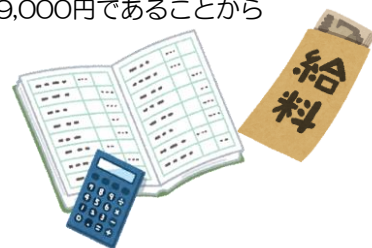
※2 平成29年度予算、平成29年度末残高を、平成29年1月1日の住民基本台帳に基づく人口（68,678人）で割って算出しています。（）は平成28年度の数値です。

※3 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

## 7. 「家計簿」に例えると？

○一般会計の予算（311億円）を年収540万円（1月あたり45万円）の家計に置き換えています。

※厚生労働省実施の「平成27年国民生活基礎調査」による全国の世帯平均所得が541万9,000円であることから  
端数を整理して、540万円の家計に置き換えています。



### 【加賀家 1ヵ月の家計簿】

| 《 収 入 》               |                          | 《 支 出 》                             |                        |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------------------|------------------------|
| 給与<br>(市税)            | 12万9,765円<br>(13万 530円)  | 食費<br>(人件費)                         | 6万7,828円<br>(6万6,067円) |
| 諸手当<br>(地方交付税、国県補助金等) | 22万6,799円<br>(22万9,327円) | 家族の医療費・教育費<br>(扶助費)                 | 9万8,652円<br>(9万9,114円) |
| パート収入<br>(使用料・手数料等)   | 2万1,874円<br>(2万4,129円)   | ローンの返済<br>(公債費)                     | 6万1,656円<br>(6万6,488円) |
| 銀行からの借入<br>(市債)       | 5万6,420円<br>(5万6,110円)   | 子どもへの仕送り<br>(繰出金、投資・出資金)            | 7万2,733円<br>(6万9,369円) |
| 貯金の取り崩し<br>(繰入金)      | 1万5,142円<br>(9,905円)     | 光熱水費や通信費など<br>(物件費、補助費等)            | 9万2,369円<br>(9万 230円)  |
|                       |                          | 家・車・電化製品の修理、買い換え<br>(維持補修費、普通建設事業費) | 5万2,954円<br>(4万8,380円) |
|                       |                          | 親戚へ貸すお金<br>(貸付金)                    | 3,060円<br>(9,644円)     |
|                       |                          | 貯金<br>(積立金、予備費)                     | 748円<br>(708円)         |
| 計                     | 45万円                     | 計                                   | 45万円                   |

( ) 内は平成28年度の数値です。

○一般会計予算を年収540万円の家計に置き換えた場合の平成29年度末の借金残高、貯金残高

|                 |              |             |            |
|-----------------|--------------|-------------|------------|
| 全会計の借金残高        | 1,353万4,970円 | 全会計の貯金残高    | 159万5,793円 |
| うち一般会計の借金残高     | 645万7,245円   | うち一般会計の貯金残高 | 133万7,473円 |
| うち臨時財政対策債(※)の残高 | 247万5,393円   |             |            |

※ 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

見てわかる  
平成 29 年度  
加賀市当初予算のあらまし

作成：平成 29 年 4 月

編集：加賀市総務部財政課財政係

（〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地）

TEL：0761-72-7805

E-mail：zaiseikakari@city.kaga.lg.jp

HP: <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/>